

1 調査名称：（うるま市）都市・地域総合交通戦略策定調査

2 調査主体：うるま市

3 調査圏域：市全域

4 調査期間：令和元年度（平成31年度）

5 調査概要：

本市では、総合計画や都市計画マスタープランで掲げる将来像実現のため、地域拠点間を結ぶ交通ネットワークの強化、観光資源を活かせるような観光周遊ネットワークの構築、物流円滑化と交通負担軽減に向けた産業に資するネットワークの構築などの課題を解決するため、平成31年3月に「うるま市交通基本計画」策定した。

そのアクションプランとして、うるま市交通基本計画で示された本市の交通に係る将来像の実現に向け、短・中期（5年～10年）で優先的に取り組むべき施策の具体的な内容や整備方針、推進体制、実施目標時期を明示するための「うるま市総合交通戦略」を策定する。

I 調査概要

1 調査名称：（うるま市）都市・地域総合交通戦略策定調査

2 報告書目次

第1章 業務概要

- 1.1 業務概要
- 1.2 業務実施方針
 - 1.2.1 業務フロー
 - 1.2.2 業務実施方針
- 1.3 業務組織計画

第2章 各施策の有益性及び施策パッケージの検討

- 2.1 各施策の有益性
 - 2.1.1 事例収集にあたっての分野の設定
 - 2.1.2 分野別の事例収集
 - 2.1.3 個別事例の概要
- 2.2 施策パッケージの検討
 - 2.2.1 ゾーン別（地区別）の将来像及び課題
 - 2.2.2 基本方針に基づく実施施策
 - 2.2.3 実施施策の概要

第3章 ゾーン別の施策展開の検討

- 3.1 ニーズの把握
 - 3.1.1 住民意見交換会
 - 3.1.2 web アンケート調査
- 3.2 実施体制（推進体制）の整理
- 3.3 実施時期の検討
 - 3.3.1 短期戦略・中期戦略の設定
 - 3.3.2 実施時期の検討
- 3.4 ゾーン別の施策展開の検討

第4章 計画目標、数値目標等の設定

- 4.1 計画目標、数値目標の設定

第5章 実施プログラムの検討

5.1 重点施策の設定

5.2 実施プログラムの検討

第6章 フォローアップ体制の検討

6.1 フォローアップ体制の検討

6.2 評価・改善

3 調査体制

うるま市総合交通戦略策定検討委員会
(委員長 琉球大学 准教授 神谷 大介)

うるま市総合交通戦略策定検討幹事会
(幹事長 うるま市 都市建設部 参事 浜田 宗賢)

うるま市総合交通戦略策定検討委員会・幹事会 事務局
(うるま市 都市建設部 都市政策課 都市計画係)

4 委員会名簿等：

委員会名簿

区 分	所 属	役職等	氏 名
委員長	琉球大学 工学部	准教授	神谷 大介
委員	沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課	課長	小谷 秀治
委員	沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課	課長	大城 照彦
委員	沖縄総合事務局 運輸部 企画室	室長	三宅 亮
委員	沖縄総合事務局 運輸部 陸上交通課	課長	小谷 和史
委員	沖縄総合事務局 北部国道事務所	副所長	渡久山 雄一
委員	沖縄県 企画部 交通政策課	課長	宮城 優
委員	沖縄県 土木建築部 都市計画・モノレー ル課	課長	謝花 勉
委員	沖縄県 土木建築部 道路街路課	課長	島袋 善明
委員	沖縄県 土木建築部 道路管理課	課長	島袋 一英
委員	沖縄県 うるま警察署 交通課	課長	玉城 尚也
委員	沖縄県 石川警察署 交通課	課長	高嶺 敏光
委員	沖縄県バス協会	専務理事	慶田 佳春
委員	沖縄バス株式会社 運輸部	業務課長	名嘉山 敬雄

委員	株式会社琉球バス交通 業務課	係長	仲間 直克
委員	沖縄県ハイヤー・タクシー協会	事務局長	津波古 修
委員	うるま市観光物産協会	副理事長	天願 勝行
委員	NPO法人 バリアフリーネットワーク会議	理事長	親川 修
委員	うるま市自治会長連絡協議会	前原自治会長	照屋 淳
委員	市民（著名人）		くだか まり
委員	市民（著名人）		伊波 大志
委員	うるま市 企画部	部長	仲本 昭信
委員	うるま市 市民部	部長	平良 一雄
委員	うるま市 経済部	部長	佐久川 篤
副委員長	うるま市 都市建設部	部長	目取真 康史

幹事会名簿

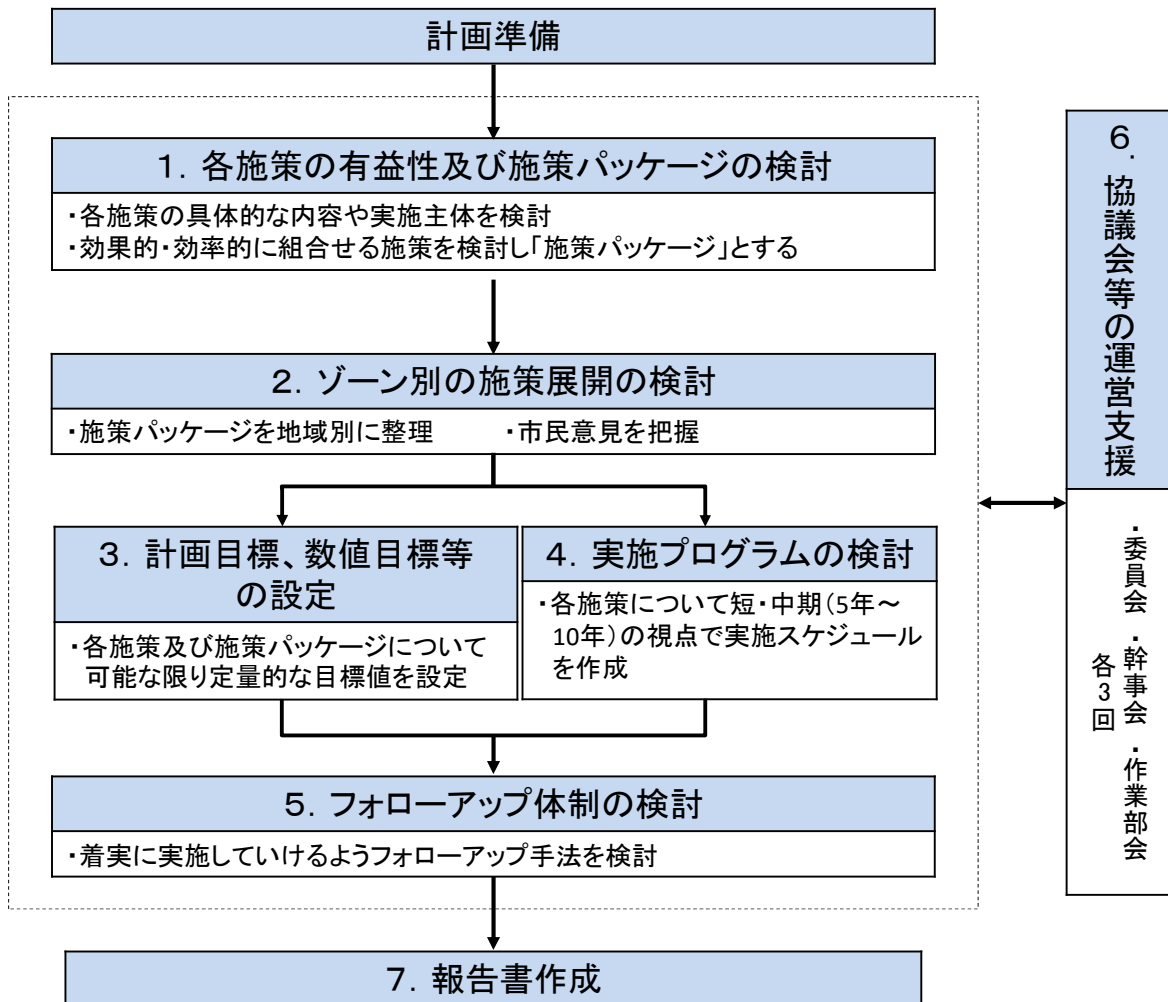
区分	所属	職名	氏名
幹事長	都市建設部	都市建設部参事	浜田 宗賢
副幹事長	都市建設部	都市政策課長	名嘉眞 睦
幹事	企画部	企画政策課長	金城 和明
幹事	企画部	財政課長	諸見里 直樹
幹事	企画部	防災基地涉外課長	中村 朝光
幹事	市民部	市民協働課長	神田 成啓
幹事	経済部	産業政策課長	田崎 諭
幹事	経済部	商工労政課長	宇座 徳之
幹事	経済部	観光振興課長	松岡 秀光
幹事	福祉部	福祉総務課長	山根 晃
幹事	教育委員会 指導部	指導課長	前田 浩
幹事	都市建設部	道路公園課長	田場 直樹
幹事	都市建設部	維持管理課長	上間 和元
幹事	消防本部	警防課長	渡具知 政治

II 調査成果

1 調査目的

平成31年3月に策定した「うるま市交通基本計画」に基づき、短・中期（5年～10年）で優先的に取り組むべき施策の具体的な内容や整備方針、推進体制、実施目標時期を明示する「うるま市総合交通戦略」を策定することが目的である。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

各施策の有益性

◇事例収集にあたっての分野の設定

事例収集にあたり、交通基本計画における5つの基本方針とそれぞれの施策の方針(方向性)をもとに、9つの分野を設定した。

〔交通基本計画における基本方針及び施策の方針(方向性)〕

基本方針Ⅰ 体系的な道路網の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・高速交通体系の道路ネットワークの構築を目指す。 ・広域的な「南北軸」「東西軸」と、市街地への交通を抑制させる「環状道路」の実現を目指す。
基本方針Ⅱ 戦略的な物流の円滑化を図る交通環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・中城湾港や島しょ部方面の交通アクセスを向上し、産業活動や物流を支援する。 ・那覇港や中城湾港の機能連携に資する物流円滑化を目指す。
基本方針Ⅲ 利便性の高い公共交通サービス等の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・バスや航路の利便性向上と利用者数増加を目指す。 ・新技術や新交通サービス等を用いて、交通弱者に対しても利便性の向上を目指す。
基本方針Ⅳ 災害時等の迅速な移動を実現させる交通体系の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ部からの救急搬送や物資輸送を支援する。 ・道路空間の防犯性向上と災害時の誘導方策の確立を目指す。
基本方針Ⅴ 魅力があり、使いやすい道路交通空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいを創出するための道路空間の有効活用を目指す。 ・世界遺産勝連城跡や海中道路、石川多目的ドームなどの観光地へのアクセスを向上し、観光客数増加等を目指す。 ・基幹バス延伸や将来的な鉄軌道整備を見据えた道路空間の確保を目指す。



〔事例収集にあたって設定した分野〕

A) 広域的な移動を支える道路整備
B) 円滑な移動を支える道路整備
C) 安全・安心な移動を支える道路整備
D) 自転車利用環境の改善
E) 公共交通網の再編
F) 公共交通の利用環境の改善
G) 公共交通の維持・確保
H) 公共交通の利用促進
I) 観光の魅力を高める仕組みづくり

◇基本方針に基づく実施施策

収集した施策事例を踏まえ、基本方針に基づき検討した具体的な施策（54 施策）を検討した。また、ゾーン別（地区別）に効果的・効率的な組み合わせとなることに配慮し、実施地区の検討を行なった。検討結果は下表のとおりである。

なお、総合交通戦略の推進にあたっては、実施するための体制構築が重要となることから、先に示した9つの分野に加え、「体制づくり」という新たな分野を追加し、検討を行なった。

表 基本方針に基づく実施施策及び実施地区（1/2）

実施施策		実施地区					
		全体	北部	中部	東部	島しょ部	中城湾港地区
	具体的な施策						
A 広域的な移動を支える 道路整備	1 (仮称)中部東道路の整備推進			○	○	○	○
	2 (仮称)うるまIC検討・可能性調査		○	○			
	3 (仮称)池武当ICの整備推進			○			○
B 円滑な移動を支える 道路整備	1 道路整備プログラムの改定	○					
	2 市の都市計画道路の整備			○			
	3 県道の整備推進((仮称)勝連半島南側道路、伊計平良川線)				○	○	
	4 県道75号線の機能強化(4車線化、右折帯、右折ポケット等)			○			
	5 県道85号線の機能強化			○			
	6 交差点改良(右折帯設置等)	○					
C 安全・安心な移動を支える 道路整備	1 市道整備	○					
	2 生活道路の安全対策・拡張整備検討(下原地区市街地周辺含む)			○			○
	3 生活道路等における防犯灯の設置促進	○					
	4 通学路合同点検の実施	○					
	5 円滑で確実な救急活動経路の確保	○					
	6 災害時にも通行可能な道路整備 (交差点改良工事に伴うラウンドアバウトの整備検討等)	○					
	7 緊急輸送道路の早期無電柱化推進(県道75号線等)	○					
	8 防災避難道路の指定	○					
	9 災害時の円滑な対応方策の構築(避難経路と避難方法の確立等)	○					
D 自転車利用環境の改善	1 自転車活用推進計画の策定		○	○	○	○	
	2 自転車通行空間整備(東部地域)				○	○	
	3 自転車通行空間整備検討(市全域)		○	○			
	4 自転車による市民・観光客の移動手段の整備						
	(ア) レンタサイクルの普及促進		○	○	○	○	
(イ) シェアサイクルの整備検討		○	○	○	○		
(ウ) 駐輪場の整備検討		○	○	○	○		
E 公共交通網の再編	1 公共交通網形成計画の策定・公共交通再編実施計画の策定検討						
	(ア) 公共交通網形成計画の策定	○					
	(イ) 公共交通再編実施計画の策定検討	○					
	(ウ) 基幹バス延伸検討			○			
	(エ) 支線バス(フィーダー交通)の検討			○	○		○
	2 バスレーン延伸の検討			○			
	3 PTPS(公共車両優先システム)の導入検討			○			
4 LRT・BRT導入に向けた調査研究	○						

表 基本方針に基づく実施施策及び実施地区（2/2）

実施施策	具体的な施策	実施地区					
		全体	北部	中部	東部	島しょ部	中城湾港地区
F 公共交通の利用環境の改善	1 交通結節点の整備						
	（ア）安慶名周辺交通拠点の整備検討（広域交通結節点整備）			○			
	（イ）石川IC周辺交通拠点の可能性検討（広域交通結節点整備）		○				
	（ウ）屋慶名・前原の交通結節機能強化				○	○	
	2 バス停（上屋・ベンチ等）の整備推進	○					
	3 案内表示（バスロケーションシステム）の整備推進	○					
G 公共交通の維持・確保	4 パークアンドバスライドの整備検討		○	○			
	5 施設（バス停等）や車両のバリアフリー化	○					
	1 コミュニティ交通（バス・タクシー）の導入検討		○		○	○	○
	2 デマンド型交通（デマンドバス・乗合タクシー）の導入検討				○	○	○
	3 グリーンスローモビリティの活用					○	
	4 自家用有償旅客運送の導入検討				○	○	
	5 公共施設間連絡バス運行の維持・拡充検討	○					
	6 新技術による交通手段の検討（自動運転、地域ITS関連の取り組み）					○	
	7 高齢者生活支援体制（外出支援）の維持・拡充検討	○					
H 公共交通の利用促進	8 障がい者外出支援の維持・拡充検討	○					
	9 運転手の人材育成	○					
	1 優遇制度の導入検討（タクシーチケット、バス補助券等）	○					
	2 モビリティ・マネジメント						
	（ア）啓発活動（ポスター掲示、バスマップの配布等、広報活動）	○					
	（イ）小中学校等での出前講座	○					
	（ウ）ノーマイカーデーの実施・時差出勤の実施	○					
I 観光の魅力を高める仕組みづくり	（エ）パークアンドバスライドの推奨	○					
	（オ）交通系ICカードの普及促進	○					
	1 わかりやすい案内誘導（勝連城跡、海中道路等）			○	○	○	
	2 プレミアムタクシー制度の導入検討	○					
	3 景観が優れた道路空間の形成				○	○	
	4 道路空間の再編・活用（県道75号線等）			○			
	5 道の駅の整備検討					○	○
	6 うるマルシェの交通機能強化			○			
	7 クルーズ船のターミナル機能強化（クルーズ船寄港促進・シャトルバスの運行（船着場ーうるマルシェ間））						○
	8 イベント時の交通情報の発信（駐車場情報・シャトルバス運行情報・経路及び時間の分散等）	○					
J 体制づくり	9 航路と連携した観光ロードの構築				○	○	
	10 公共交通による観光周遊ネットワークの構築	○					
J 体制づくり	1 交通関連統括部署の設置検討	○					
	2 近隣市町村との生活圏を踏まえた交通体系の検討	○					

実施時期の検討

交通基本計画で示している基本方針は2040年の将来目標を達成するためのものである。

一方、総合交通戦略では目標年次を2030年としており、交通基本計画で示されている将来像を実現するために、短中期的に優先的かつ重点的に取り組むべき施策を検討することが求められる。

そのため、総合交通戦略においては、交通基本計画における基本方針に沿った短期、中期別に戦略を設定し、これら戦略に沿った実施時期を検討することとした。

◇短期戦略・中期戦略の設定

短期戦略・中期戦略は交通基本計画で示されている基本方針及び施策の方針（方向性）をもとに検討した。

基本方針別に設定した短期戦略・中期戦略は以下のとおりである。

基本方針Ⅰ：体系的な道路網の構築

- ・高速交通体系の道路ネットワークの構築を目指す。
- ・広域的な「南北軸」「東西軸」と、市街地への交通を抑制させる「環状道路」の実現を目指す。

短期 段階的な道路整備計画

中期 階層型の道路ネットワーク構築の推進

基本方針Ⅱ：戦略的な物流の円滑化を図る交通環境の構築

- ・中城湾港や島しょ部方面の交通アクセスを向上し、産業活動や物流を支援する。
- ・那覇港や中城湾港の機能連携に資する物流円滑化を目指す。

短期 地域内交通の円滑化

中期 広域交通の円滑化

基本方針Ⅲ：利便性の高い公共交通サービス等の構築

- ・バスや航路の利便性向上と利用者数増加を目指す。
- ・新技術や新交通サービス等を用いて、交通弱者に対しても利便性の向上を目指す。

短期 域内の公共交通網構築

中期 誰もが便利に公共交通を利用できる環境づくり

基本方針Ⅳ：災害時等の迅速な移動を実現させる交通体系の構築

- ・島しょ部からの救急搬送や物資輸送を支援する。
- ・道路空間の防犯性向上と災害時の誘導方策の確立を目指す。

短期 域内の公共交通網構築

中期 誰もが便利に公共交通を利用できる環境づくり

基本方針Ⅴ：魅力があり、使いやすい道路交通空間の創出

- ・賑わいを創出するための道路空間の有効活用を目指す。
- ・世界遺産勝連城跡や海中道路、石川多目的ドームなどの観光地へのアクセスを向上し、観光客数増加等を目指す。
- ・基幹バス延伸や将来的な鉄軌道整備を見据えた道路空間の確保を目指す。

短期 観光周遊を意識した基盤整備の推進

中期 美しい自然環境や景観を演出する環境形成の推進

◇実施時期の検討

短期戦略・中期戦略をもとに実施施策別に実施時期の検討を行なった。

なお、実施時期の検討にあたっては、以下の点に留意し検討を行なった。

- うるま市役所内関係部署を含む一部関係機関と調整を行うとともに、予算などを考慮する。
- 関連性のあるハード施策とソフト施策は一体的に進めることができるような実施時期の設定をする。

表 実施時期の検討結果 (1/2) ※実施時期： → 施策検討や関係機関との調整 → 施策実施 → 施策継続実施

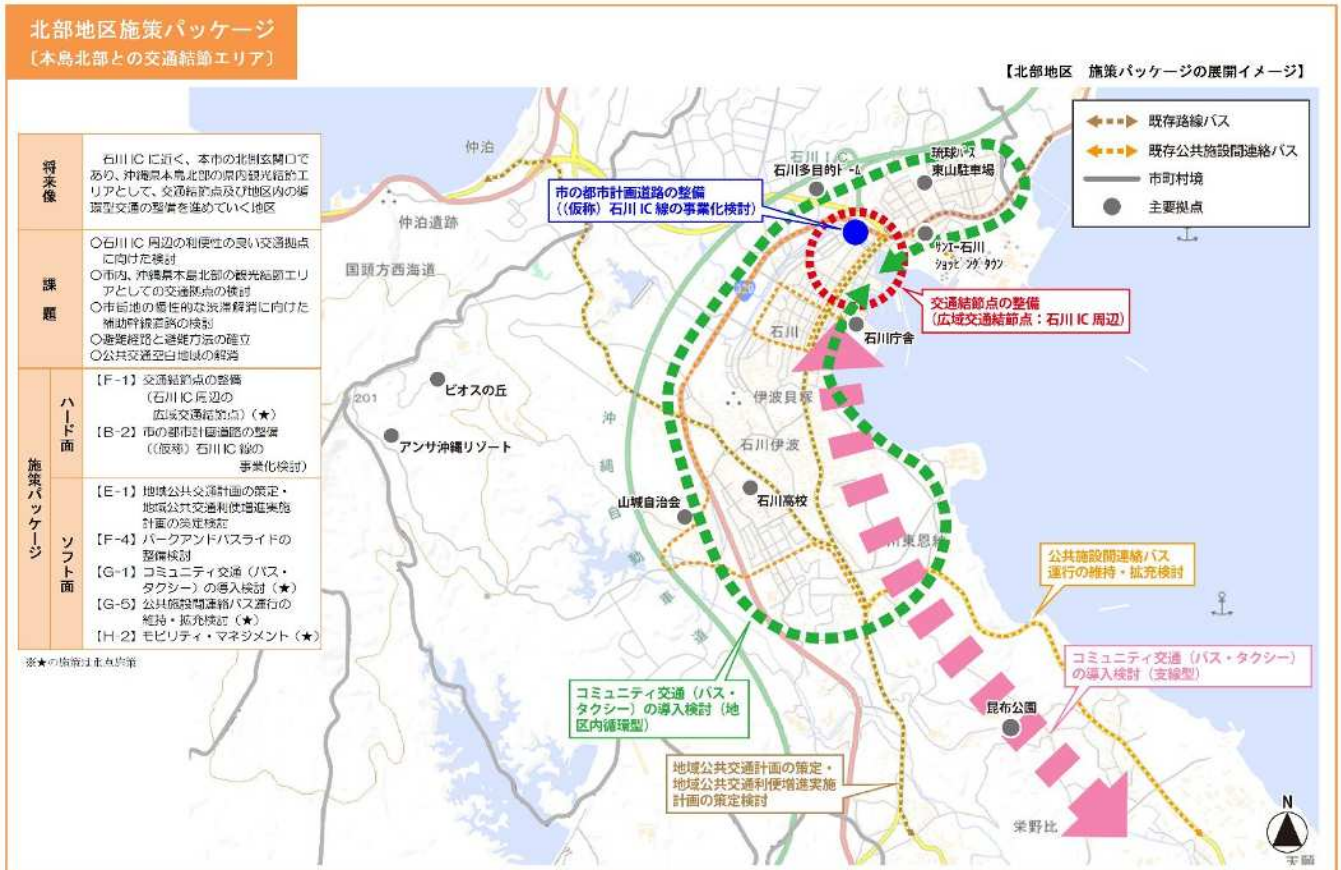
		実施時期		
		短期 (2025年)	中期 (2030年)	長期 (2040年)
A 広域的な移動を支える 道路整備	1 (仮称)中部東道路の整備推進	→	→	→
	2 (仮称)うるまIC検討・可能性調査	→		
	3 (仮称)池武当ICの整備推進	→	→	
B 円滑な移動を支える 道路整備	1 道路整備プログラムの改定	→		
	2 市の都市計画道路の整備	→	→	→
	3 県道の整備推進 (仮称)勝連半島南側道路、伊計平良川線)	→	→	
	4 県道75号線の機能強化 (4車線化、右折帯、右折ポケット等)	→	→	
	5 県道85号線の機能強化	→	→	→
	6 交差点改良(右折帯設置等)	→	→	
C 安全・安心な移動を支える 道路整備	1 市道整備	→	→	→
	2 生活道路の安全対策・拡張整備検討 (下原地区市街地周辺含む)	→	→	
	3 生活道路等における防犯灯の設置促進	→	→	→
	4 通学路合同点検の実施	→	→	→
	5 円滑で確実な救急活動経路の確保	→	→	→
	6 緊急輸送道路の早期無電柱化推進 (県道75号線等)	→	→	→
	7 災害時にも通行可能な道路整備 (交差点改良工事に伴うラウンドアバウト の整備検討等)	→	→	→
	8 防災避難道路の指定	→	→	→
	9 災害時の円滑な対応策の構築 (避難経路と避難方法の確立等)	→	→	→
D 自転車利用環境の改善	1 自転車活用推進計画の策定	→	→	
	2 自転車通行空間整備(東部地域)	→	→	
	3 自転車通行空間整備検討(市全域)	→	→	→
	4 自転車による市民・観光客の移動手段 の整備			
	(ア) レンタサイクルの普及促進	→	→	
(イ) シェアサイクルの整備検討	→	→		
(ウ) 駐輪場の整備検討	→	→		
E 公共交通網の再編	1 公共交通網形成計画の策定・公共交通再 編実施計画の策定検討			
	(ア) 公共交通網形成計画の策定	→	→	
	(イ) 公共交通再編実施計画の 策定検討	→	→	
	(ウ) 基幹バス延伸検討	→	→	
	(エ) 支線バス(フィーダー交通)の検討	→	→	
	2 バスレーン延伸の検討	→	→	
	3 PTPS(公共車両優先システム)の 導入検討	→	→	
4 LRT・BRT導入に向けた調査研究	→	→		

表 実施時期の検討結果 (2/2) ※実施時期： → 施策検討や関係機関との調整 → 施策実施 → 施策継続実施

		実施時期			
		短期 (2025年)	中期 (2030年)	長期 (2040年)	
F	公共交通の利用環境 の改善	1 交通結節点の整備			
		(ア)安慶名周辺交通拠点の整備検討 (広域交通結節点整備)	→		
		(イ)石川IC周辺交通拠点の可能性検討 (広域交通結節点整備)		→	
		(ウ)屋慶名・前原の交通結節機能強化		→	
		2 バス停(上屋・ベンチ等)の整備推進	→	→	
		3 案内表示(バスロケーションシステム)の 整備推進	→	→	
4 パークアンドバスライドの整備検討			→		
5 施設(バス停等)や車両のバリアフリー化	→	→	→		
G	公共交通の維持・確保	1 コミュニティ交通(バス・タクシー)の 導入検討	→		
		2 デマンド型交通(デマンドバス・ 乗合タクシー)の導入検討	→		
		3 グリーンスローモビリティの活用		→	→
		4 自家用有償旅客運送による 交通手段の確保	→		
		5 公共施設間連絡バス運行の 維持・拡充検討			→
		6 新技術による交通手段の検討 (自動運転、地域ITS関連の取り組み)	→	→	
		7 高齢者生活支援体制(外出支援)の 維持・拡充検討			→
		8 障がい者外出支援の維持・拡充検討			→
		9 運転手の人材育成			→
H	公共交通の利用促進	1 優遇制度の導入検討 (タクシーチケット、バス補助券等)	→	→	
		2 モビリティ・マネジメント			
		(ア)啓発活動(ポスター掲示、バスマップ の配布等、広報活動)			→
		(イ)小中学校等での出前講座			→
		(ウ)ノーマイカーデー・時差出勤の実施	→	→	→
		(エ)パークアンドバスライドの推奨			→
		(オ)交通系ICカードの普及促進	→	→	→
I	観光の魅力を高める 仕組みづくり	1 わかりやすい案内誘導 (勝連城跡、海中道路等)	→		
		2 プレミアムタクシー制度の導入検討	→	→	
		3 景観が優れた道路空間の形成	→		→
		4 道路空間の再編・活用(県道75号線等)	→	→	
		5 道の駅の整備検討	→		→
		6 うるマルシェの交通機能強化	→	→	
		クルーズ船のターミナル機能強化 (クルーズ船寄港促進・シャトルバスの 運行(船着場-うるマルシェ間))	→		→
		イベント時の交通情報の発信 (駐車場情報・シャトルバス運行情報・ 経路及び時間の分散等)			→
		9 航路と連携した観光ロードの構築	→		→
		10 公共交通による観光周遊ネットワーク の構築	→		→
J	体制づくり	1 交通関連統括部署の設置検討	→		
		2 近隣市町村との生活圏を踏まえた 交通体系の検討			→

ゾーン別の施策展開の検討

第2章で検討した実施施策及び実施地区をもとに、住民意見交換会での意見やwebアンケート調査結果を踏まえ、ゾーン別の施策展開の検討を行なった。



中部地区施策パッケージ 【中心市街地エリア】

【中部地区 施策パッケージの展開イメージ】

将来像	本市の中心市街地であり、住居場所、働く場所が実質し、交通利便性を向上させていくことが必要な地区
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○景観沖縄石川（75号）線のトラフィック機能向上に向けた機能強化 ○高規格10区画や道路増設等の原因解明とその対策（交差点改良等） ○既存道路ストックの有効活用 ○市街地における公共交通空白地域の解消 ○沖縄北IC周辺の渋滞緩和
施策パッケージ	ハード面 <ul style="list-style-type: none"> 【A-1】(仮称) 中部東道路の整備推進(★) 【A-2】(仮称) うるまIC核化・可能性調査(★) 【A-3】(仮称) 池武当ICの整備推進 【B-2】市の都市計画道路の整備 【B-4】【B-5】県道75号線・県道86号線の機能強化 【E-2】バスレーン延伸の検討 【E-3】PTPS(公共車両優先システム)の導入検討 【F-1】交通結節点の整備(変換名周辺の広域交通結節点)(★)
	ソフト面 <ul style="list-style-type: none"> 【E-1】地域公共交通計画の策定・地域公共交通利用促進実態計画の策定検討 【F-4】パークアンドバスライドの整備検討 【G-1】コミュニティ交通(バス・タクシー)の導入検討(★) 【G-5】公共施設間連絡バス運行の維持・拡充検討(★) 【H-2】モビリティ・マネジメント(★) 【I-6】うるマルシェの交通機能強化

※★の施策は重点施策

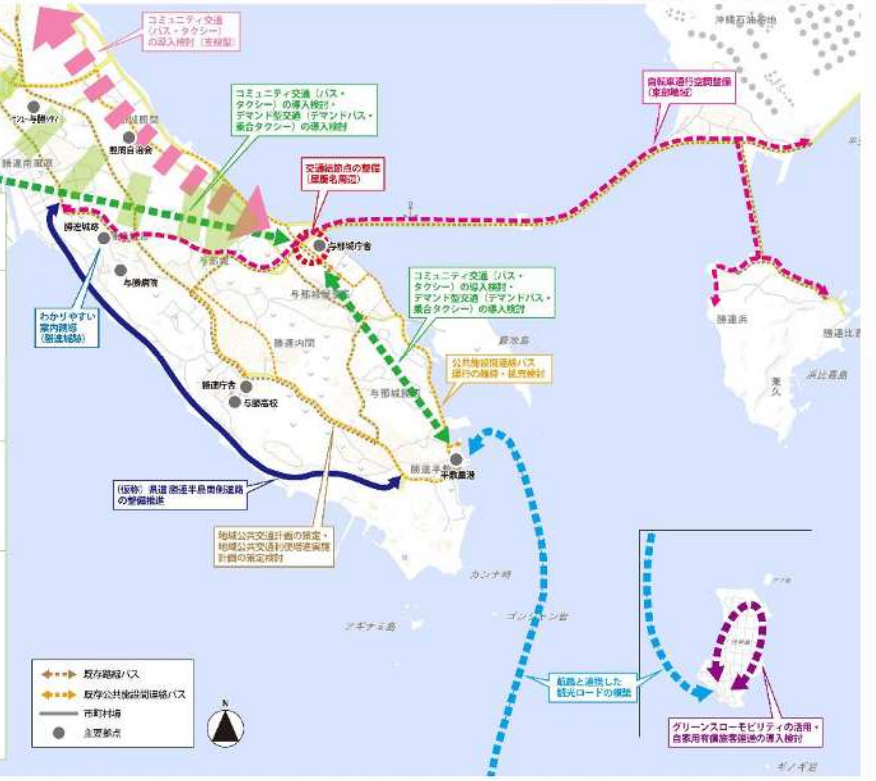


東部地区施策パッケージ 【観光・産業資源エリア】

【東部地区 施策パッケージの展開イメージ】

将来像	島しょ地区への玄関口として、スムーズな乗り換え環境の整備や、世界遺産である御蔵街道が立地し、観光を支援する交通整備が必要エリア
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急搬送時間の短縮 ○観光客を誘った道路交通情報の整備 ○東西方向のトラフィック機能の確保、ハシゴ道路との連結 ○地味川沿いに負する道路ネットワークの拡充強化 ○那覇空港と本島東部海岸の観光拠点(皇しよ地域・勝浦城跡等)間、東運河と西海岸の観光拠点間の迅速性、定時性、ルートのわかりやすさの向上 ○観光拠点間の移動時間を短縮することで需遊性も向上 ○安全で快適な自転車通行空間の整備推進
施策パッケージ	ハード面 <ul style="list-style-type: none"> 【A-1】(仮称) 中部東道路の整備推進(★) 【B-3】(仮称) 皇道 勝運半島幹線道路の整備推進 【D-2】自転車通行空間整備(東部地区) 【F-1】交通結節点の整備(変換名周辺の交通結節点) 【I-3】景観が優れた道路空間の形成
	ソフト面 <ul style="list-style-type: none"> 【E-1】地域公共交通計画の策定・地域公共交通利用促進実態計画の策定検討 【G-1】コミュニティ交通(バス・タクシー)の導入検討(★) 【G-2】デマンド型交通(デマンドバス・乗合タクシー)の導入検討(★) 【G-3】グリーンズローモビリティの活用(★) 【G-4】自家用有償旅客運送の導入検討(★) 【G-5】公共施設間連絡バス運行の維持・拡充検討(★) 【H-2】モビリティ・マネジメント(★) 【I-1】わかりやすい案内誘導(御蔵街道) 【I-9】新幹線と連携した観光ロードの構築

※★の施策は重点施策



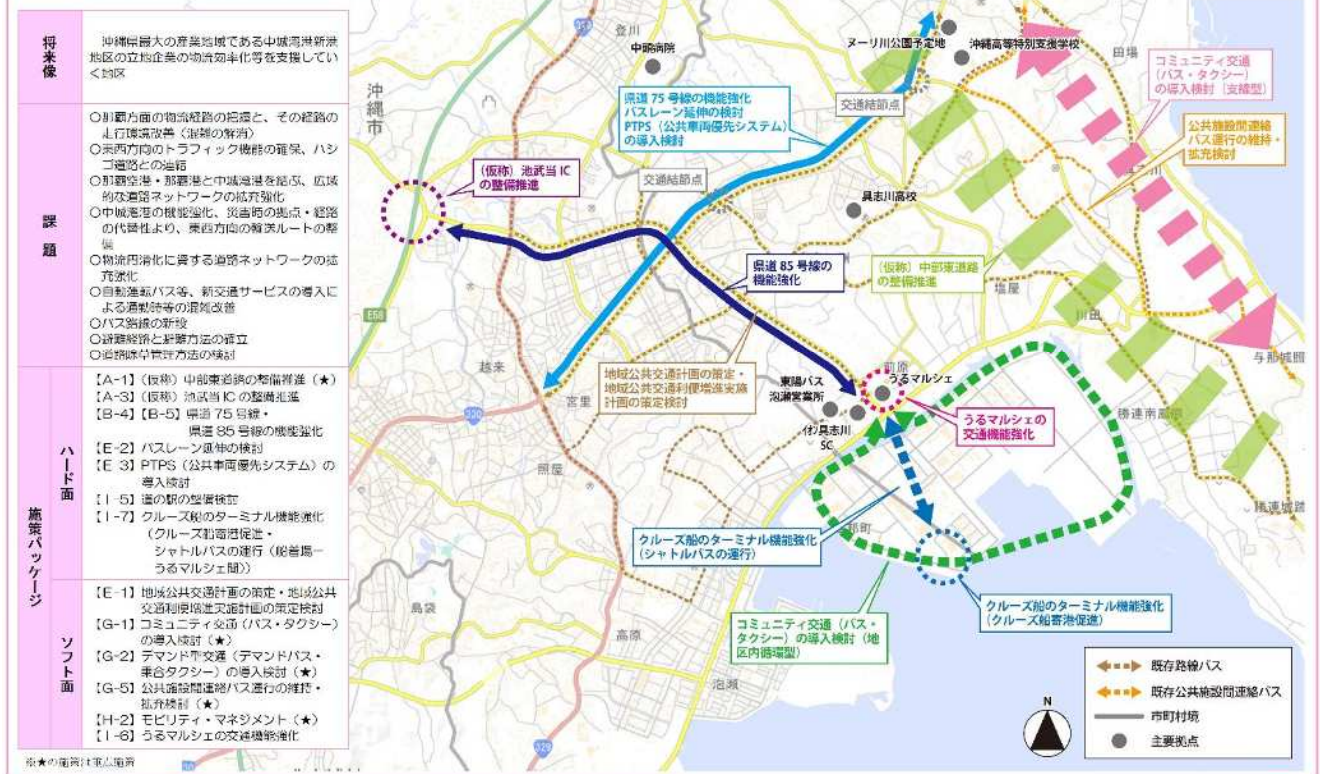
島しょ地区施策パッケージ 〔観光・産業資源エリア〕

【島しょ地区 施策パッケージの展開イメージ】



中城湾港新港地区施策パッケージ 〔立地企業集積エリア〕

【中城湾港新港地区 施策パッケージの展開イメージ】



重点施策の設定

短期的かつ優先的に取り組むことで効果が見込まれるなど、重点的に進めることが望ましいと判断される施策（重点施策）を3つの分類で設定した。

実施プログラムについては、これら重点施策について検討を行なうこととした。

【重点施策】

I. 短期戦略として優先的に取り組むことで効果が見込まれる施策

【G-1】コミュニティバス・コミュニティタクシーの導入検討

【G-2】デマンド型交通（デマンドバス・乗合タクシー）の導入検討

【G-3】グリーンスローモビリティの活用

【G-4】自家用有償旅客運送の導入検討

【G-5】公共施設間連絡バス運行の維持・拡充検討

【H-2】モビリティ・マネジメント

II. 本市が目指す都市的土地利用の実現に向け、特に重点的に取り組む施策

【F-1】（ア）安慶名周辺交通拠点の整備検討（広域交通結節点整備）

【F-1】（イ）石川 IC 周辺交通拠点の可能性検討（広域交通結節点整備）

III. 本市の総合計画や総合戦略、その他関連計画に係る特に重要な施策

【A-1】（仮称）中部東道路の整備推進

【A-2】（仮称）うるま IC 検討・可能性調査

【B-3】県道の整備推進（（仮称）勝連半島南側道路、伊計平良川線）

